

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01B37LQw2H2U2A.asp%20>>

=====

【開 催】

—11月29日30学会・学術フォーラムのネット中継のお知らせ—

学術会議と30の学会の代表が集まり、11月29日（土）10時から17時30分まで行われます。

「東日本大震災・阪神淡路大震災等の経験を国際的にどう活かすか」をテーマとしたフォーラムです。30学会による共同声明も発表します。

和田章先生が代表挨拶、米田雅子先生がコーディネータを務められます。当日はネット中継を行いますので、次をクリックしてご覧下さい。

<http://jeqnet.org/sympo/index.html>> （ホームページ、詳細有）

（満席のため参加申込みは締め切り）

=====

【新刊紹介】

—「縦割りをこえて日本を元気に」（米田雅子著）が発刊—

□建設トップランナー倶楽部の代表幹事で慶應義塾大学特任教授の米田雅子氏が「縦割りをこえて日本を元気に」（中央公論新社刊）を10月10日に出版しました。地方の活性化なくして、真の意味での日本の再生はないとの信念のもと、日本を再生するために必要なことを問いながら、地方の現場で汗する人々が志を遂げられる処方箋になればとの思いで書き下ろしました。アマゾン、書店などでお求め下さい

<http://www.amazon.co.jp/縦割りをこえて日本を元気に-米田-雅子/dp/4120046621>>

=====

【 1 】 運用指針骨子案 発注者協で意見交換

□国土交通省は、都道府県、市町村などの発注機関を地方整備局単位で集める発注者協議会を全10ブロックで開き、改正公共工事品質確保促進法（品確法）の「発注関係事務の運用に関する指針」（運用指針）の骨子案について意見交換を行います。きょう16日の中国ブロック、四国ブロック以降、10月末までに全ブロックで会合を開きます。協議会では、骨子案についての意見交換に加え、指針を踏まえた発注関係事務を運用するための実施体制などについて話し合います。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01B2FIHyXDRBPU.asp>

=====

【 2 】 無電柱化推進法案 臨時国会に提出へ

□自民党のITS推進・道路調査会の無電柱化小委員会は16日、電気事業者などに道路新設・拡幅時に電柱を設置しないように求める「無電柱化推進法案」の骨子を固めました。開会中の臨時国会での成立を目指します。発災時の被害拡大を防ぐため、国・地方自治体が道路占用の禁止・制限を行い、電柱の新設を禁止し、既設の電柱の撤去を電力事業者に求めることができるようにします。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01B2GIS23RHVIK.asp>>

=====

【 3 】 多様な入札契約 モデルの支援者決定

□国土交通省は、改正公共工事品質確保促進法（品確法）に追加された多様な入札契約方式を普及させるためのモデル事業で、地方自治体に派遣する建設コンサルタントなど5社を決定しました。秋田県大仙市と宮城県に日本工営、相模原市にURリンケージ、愛知県新城市に明豊ファシリティワークス、大阪府に建築保全センターをそれぞれ派遣します。

<<http://www.senmonshi.com/archive/01/01B2LJ2o3RHVIK.asp>>

【 4 】 点検・診断資格制度で、登録の規程案

□国土交通省は、インフラ点検・診断の資格制度「公共工事に関する調査・設計及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規程案」をまとめ、21日から意見募集を始めました。登録の対象となる資格は、トンネル、港湾、砂防設備など10施設分野ですすでに実績のある民間資格です。橋梁は「鋼橋」と「コンクリート橋」に区分を分けます。国交省は提出される意見も踏まえ、登録規程を12月上旬に官報告示した上で、登録を希望する民間資格の公募を始めます。学識経験者らによる第三者委員会で適格性を審査し、年明けに第1弾の登録資格を決めます。

<<http://www.senmonshi.com/archive/01/01B2MIX5IOLORN.asp>>

【 5 】 技能労働者、2025年に半減ありも

□建設経済研究所の推計によると、建設技能労働者の減少が2005～10年のペースで続いたと仮定すると、2010年に266万人だった技能労働者は15年後の25年には141万人（10年比47%減）まで半減することが分かりました。ただ一方、過去3年の技能労働者数が増加傾向にあることを踏まえてプラス補正を行った推計では、15・3%減の226万人まで改善するとの結果も出ています。同研究所は「人材確保・育成を先送りせずに着実に進めることが、建設企業の競争力を確保する上で不可欠」と訴えています。

<<http://www.senmonshi.com/archive/01/01B2MIY7RPK7OL.asp>>

【 6 】 2015年度の建設投資は3・2%減

□建設経済研究所などは、2015年度の建設投資（名目値）を前年度比3・2%減の45兆9500億円とする見通し（10月時点）をまとめました。7月時点の見通しから700億円の下方修正となります。政府建設投資は、政府内で検討されている補正予算を加味しなかったために11・6%の大幅な減少。住宅着工戸数は、15年10月の消費増税による駆け込み需要が前回増税時と比べ小幅になるとみており、反動減の影響が大きい14年度と比べても微増の2・2%増となります。14年度の建設投資は2・6%減の47兆4700億円と予測しています。

<<http://www.senmonshi.com/archive/01/01B2NIG22H2U2A.asp>>

【 7 】 入札契約適正化を要請 大臣名で通知

□国土交通省、総務省、財務省の3省は、公共工事の入札契約適正化に向けて「適正な予定価格の設

定」「ダンピング対策の強化」「社会保険等未加入業者の排除」などに緊急に取り組むよう、国の省庁と地方自治体などに要請しました。9月に改正した入札契約適正化指針の内容を反映した通知を各大臣名で送付した。適正な予定価格の設定に関しては、適正な積算に基づく設計書金額の一部を控除する「歩切り」を行わないことをあらためて要請。近く開始する実態調査で、個別指導の対象となりうるケースを例示し、歩切りを速やかに取り止めるよう求めました。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01B2RM@H2H2U2A.asp>

【 8 】 担い手確保・育成コンソーシアム発足

□建設業における全国的な教育訓練体系の構築を目指し、建設業団体、国土交通省、厚生労働省、職業訓練校、教育機関などによる「建設産業担い手確保・育成コンソーシアム」が29日、発足しました。同日開かれた企画運営会議で決定したアクションプログラム（第1版）では、担い手不足が特に懸念される「野丁場」の技能者に重点を置き、教育訓練体系の構築を急ぐ方向性を提示。企画運営会議の座長を務める建設業振興基金の内田俊一理事長は「建設産業には若者の一生を引き受ける覚悟と決意が求められます。覚悟と決意の証として、しっかりとした教育訓練体系を構築しなくてはならない」と強調しました。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01B2VLoaXDRBPU.asp>

【 9 】 監理課長会議 運用指針案で意見交換

□国土交通省は、都道府県の監理課長らを集める「ブロック監理課長等会議」を11月10日から全国8ブロックで開き、改正公共工事品質確保促進法（品確法）の「発注関係事務の運用に関する指針」（運用指針）の骨子案や、円滑な施工確保対策などについて意見交換します。いわゆる「歩切り」を市町村に取り止めてもらうための実効性のある対策、発注・施工時期の平準化に向けた課題などをテーマに、各都道府県に実状や意見を聞きます。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01B35KKZRPK7OL.asp>

【 10 】 女性技術者・技能者、現場環境の改善

□全国建設業協会（全建、近藤晴貞会長）は4日、東京・八丁堀のマツダホールで「女性の活躍応援フォーラム」（第57回全国建設労働問題連絡協議会）を開きました。女性の入職促進や継続就業を目指し、国土交通省と建設業主要5団体が策定した行動計画（8月）に基づく取り組みの一環。都道府県協会会員企業などの女性技術・技能者によるシンポジウム＝写真＝では、女性をめぐる厳しい現場環境を指摘する声や就業条件などについての発言が相次ぎました。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01B35KJ7I0LORN.asp>

【 11 】 工事発注時期平準化など訴え 全中建

□全国中小建設業協会（全中建、松井守夫会長）は5日、改正公共工事品質確保促進法（改正品確法）をはじめとする「担い手3法」の周知徹底などを目的とした全国ブロック別意見交換会を東京都内で

開きました。会員協会からは、単年度工事の発注時期の平準化や、自治体の発注担当者に歩切りの定義の周知徹底を求める意見などが出されました。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01B37LTEPB5BG8.asp>

=====

※TRC ホームページの新設頁「倶楽部の社長たち」の運営開始！

□「倶楽部の社長たち」をホームページにアップしました。以下よりご覧ください。

(トップ頁右側の黄色のボタン「倶楽部の社長たち」からも入れます) →

<<http://www.kentop.org/link/index.html>>

ブログ・FBをお持ちの方はお知らせください。

今後も、関連掲載記事、近況報告・ご意見等を事務局宛にどんどんお寄せください

=====

ご連絡や問い合わせは

info@kentop.org

*配信停止を希望される方、アドレス変更は、当メールへの返信でお知らせ下さい

建設トップランナー倶楽部

事務局 大里茂登子、中川寛子

mail:ohsato@kentop.org

<<http://www.kentop.org/>>

〒113-00023

東京都文京区向丘 1-5-4 ワイヒルズ 2 階

米田事務所

TEL 03-5876-8461 FAX 03-5876-8463
